

# 転倒災害防止対策 事例集

## ～ 転ばぬ先の杖 ～

「転倒」の危険は日常生活においても、誰もが経験しています。その対策は業種や事業場の規模に関係なく、取り組むことが必要です。

転倒防止対策は、比較的少ない費用で対策を行うことができますので、事例を参考に取り組みをお願いします。

「4S活動」(整理・整頓・清掃・清潔)や「KY活動」(危険予知活動)も対策として有効です。

転倒のリスクは高年齢者になるほど高くなりますので、高年齢者に配慮した対策も重要です。

転倒でも骨折等の重篤災害なることもありますので、軽視してはなりません。

転倒災害防止対策が、作業性の向上につながり、従業員のモチベーションアップなど経営上のメリットになります。

(USスチール社による「セーフティ・ファースト運動」)

## 事例 映画製作・配給業(H27)

### 取り組み理由

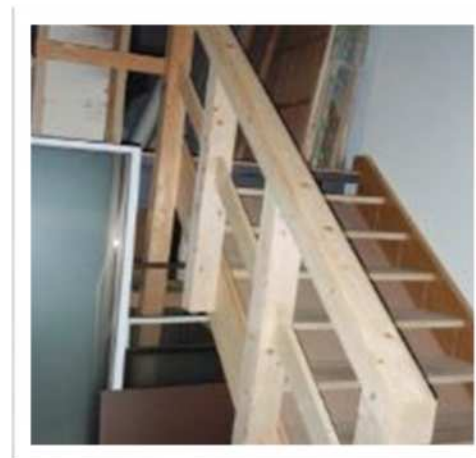
- ・作業場内を点検した結果、照度不足や用具、材料を床に置き転倒の危険が認められたこと。
- ・倉庫内の内部階段は、高所ではないものの手摺が無く、転落・転倒の危険があったこと。



転倒災害防止のため、通路に照明を増設した



用具・材料を床に置き、つまずいて転倒する危険があったため、棚を設置して整理した



倉庫内の階段に手摺が無く、転落・転倒の危険防止のために手摺を設置した

### 対策の効果

- ・照明を積極的に増設することにより、暗所が減り転倒災害の危険が少なくなったこと。
- ・棚を設置することにより、整理整頓が図られて転倒災害の危険性が減少したこと。
- ・改善点を写真撮影して安全衛生委員会で報告することにより、他職場への水平展開が図られたこと。

## 事例 派遣業（2021年12月）

### 【対策に取り組んだ理由】

普段従業員が働く製造現場を参考にして注意表示を行いました。

日々、安全に対する取組を続けた結果、少しでも危険がある箇所は表示するという風土が構築された結果だと考えます。

対策費用は  
約5000円

### 対策のポイント

- ☑ 通路上のパーテーションの脚部に転倒防止の注意表示（黄・黒色）。
- ☑ 床面上に直接荷物を置かないことをルール化。
- ☑ 「整理・整頓・清掃・清潔」「つまづき・すべりやすい箇所」「通路の幅・通路上の物の有無」等について、チェックリストに項目を設けて巡視。

|                                 |  |   |
|---------------------------------|--|---|
| 事務所内の整理・整頓・清掃・清潔                | 1. 書類は整理されておらず、定期的に確認・廃棄していない<br>2. ファイリング・ラベリングされていない書類がある<br>3. 事務所内に不要な書類はなく、定期的に整理・廃棄されている | ✓ |
| 配線・コンセントの安全                     | 1. コード類が通路に出ており、垂れ下がり・たこ足配線がある<br>2. 整備されているが、改善の余地がある<br>3. すべて安全に整備されている                     | ✓ |
| 通路につまづき・すべりやすい箇所                | 1. つまづき、すべりやすい箇所が複数ある<br>2. つまづき、すべりやすい箇所が1か所ある<br>3. 問題となる箇所はない                               | ✓ |
| 通路幅は適切で物が置かれていないか（オフィスでは80cm以上） | 1. 通路幅が不十分である<br>2. 通路幅は十分だが、通路に物が置かれている<br>3. 通路幅は十分であり、通路に物も置かれていない                          | ✓ |



### 対策の効果

☑ 表示の為、シールを貼りましたが、それで終わりにしてしまうと一過性のものとなってしまいます。チェックシートで毎週確認することで、「表示が薄くなったりしていないか？」「今危険は無いのか？」という視点で確認が出来る為、幸いにも転倒災害ゼロを継続できています。（ご担当者のコメント）

（株）ウイルテック  
京都サポートセンター 様  
（京都府長岡京市）